

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	社会復帰訓練所	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎聖福福祉会 ・代表者名 磯上 充 ・住所 川崎市川崎区池上新町3-1-8	評価者	障害計画課長
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<前年度未利用者> 就労継続:35人(定員20人) 就労移行:2人(定員10人) <新規登録> 就労継続:11人 就労移行:2人 <登録取消> 就労継続:10人 就労移行:3人 <就労> 就労継続:1人 就労移行:1人 <平成29年度未利用者> 就労継続:36人 就労移行:1人																											
収支実績	<table border="0"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支差額</td> </tr> <tr> <td>福祉事業活動 39,059千円</td> <td>福祉事業活動 35,255千円</td> <td>3,441千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 30,878千円</td> <td>人件費 25,233千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 0千円</td> <td>事務費 2,295千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等 4,703千円</td> <td>事業費 2,237千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金 0千円</td> <td>拠点区分間繰入金 1,962千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 3,478千円</td> <td>その他 3,528千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 39,059千円</td> <td>施設整備等支出 363千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 35,618千円</td> <td></td> </tr> </table> ※端数処理のため合計が一致しないことがあります。	収入	支出	収支差額	福祉事業活動 39,059千円	福祉事業活動 35,255千円	3,441千円	給付費 30,878千円	人件費 25,233千円		川崎市単独扶助 0千円	事務費 2,295千円		指定管理委託料等 4,703千円	事業費 2,237千円		拠点区分間繰入金 0千円	拠点区分間繰入金 1,962千円		その他 3,478千円	その他 3,528千円		合計 39,059千円	施設整備等支出 363千円			合計 35,618千円	
収入	支出	収支差額																										
福祉事業活動 39,059千円	福祉事業活動 35,255千円	3,441千円																										
給付費 30,878千円	人件費 25,233千円																											
川崎市単独扶助 0千円	事務費 2,295千円																											
指定管理委託料等 4,703千円	事業費 2,237千円																											
拠点区分間繰入金 0千円	拠点区分間繰入金 1,962千円																											
その他 3,478千円	その他 3,528千円																											
合計 39,059千円	施設整備等支出 363千円																											
	合計 35,618千円																											
サービス向上の取組	・満足度アンケート、権利擁護アンケート、第三者評価を実施し、支援内容についての満足度や新たなニーズの確認を行うとともに、これまでの支援の点検と反省を行った。概ね良好な調査結果を得ており、「工賃が安い」という意見に対しては、新たな作業を獲得して工賃向上に努めるなど、調査結果を活用したサービス向上に取り組んでいる。																											

3. 評価 (評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・就労の意欲はあるが、通所が続かないなど、他の事業所では受け入れが難しい方を多く受け入れている事業所として、利用者個々の状況や希望に沿った支援を展開している。 ・就労継続支援は、定員20名のところ平均16.1名の受け入れを行っている。施設外実習を積極的に受注したこと、電球作業を定期的に請け負ったことから時間単価が上がり、目標工賃を達成することができた。また、1名の方が企業就労しており、定着支援を行っている。 ・就労移行支援は、利用が低迷しており、定員10名のところ1名の利用となっているが、K-STEPを活用して利用者自身が日々の体調・精神面の管理を行えるようにしており、また、事務職を希望する利用者が多いことから外部からの電話対応をしてもらうなど、希望に沿った丁寧な支援をすることで、1名の方が就労している。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、人件費や就労支援事業費の増などにより、当初の見込みを上回った。 ・収入については、給付費収入の増などにより、収入全体で見込みを上回り、また、収支はプラスであった。 ・社会福祉法人会計基準に基づき、会計処理を行った。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) ・就労継続支援では「気分調べチェックシート」により、利用者の日々の変化を職員同士がスムーズに共有したり、人間関係に悩む利用者に対して個別の対応方法をロールプレイを通して一緒に考えるなど、個々の利用者に寄り添った丁寧な支援を行っている。 ・就労継続支援から就労移行支援へ円滑なサービス変更ができるように、昨年度に引き続き「就労移行お試し利用」を実施し、就労に不安のある利用者が使いやすいサービスを提供している。 ・苦情解決対応については、苦情受付責任者の他に公正・中立な立場から判断するために、地域から2名の第三者委員を選任して苦情解決に対応している。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護を中心に、精神障害者のセルフケア・支援方法に関する研修を受講し、施設内外を問わず利用者の生活全般の支援に役立てている。 ・地震による火災を想定した防災訓練を年2回行い、また広域避難所への避難訓練も実施して発災時に迅速に対処できるよう、利用者職員がそれぞれ確認している。 ・カッターで指を切るなどの作業中のけがなどを細かく事故報告しており、昨年度に比べて件数が増加した。細かなことを拾い上げ、注意喚起し、事故の防止に役立てるように努めている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が快適に訓練できるように、門扉・トイレ・エアコン等の修繕を実施した。 ・個人情報の保護に努め、備品については、台帳を基に適正に管理が行われた。 					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・利用者満足度アンケート、権利擁護アンケートなどを実施して、利用者の声を丁寧に聞き取るとともに、職員が支援について振り返りを行えるようにしており、サービスの向上に調査をうまく活用している。
・ボランティアや大学実習生等を受け入れ、今後の障害者支援を担う人材の育成や、地域の方との交流の機会を設け、障害者理解の促進に取り組んでいる。また、地域のお祭りで、初めて自主製品を試し販売する等、就労意欲の喚起や工賃向上などに向けて常に取り組んでいる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・毎日の通所が難しく、きめ細やかな福祉の支援が必要な方が多い事業所として、利用者自身が自分の体調管理ができるような取組や、「就労移行お試し利用」など利用者の不安を軽減する取組を継続して実施しており、個々の利用者に寄り添った支援をしていることは高く評価できる。利用者が少ないことについては、他の事業所では受け入れが困難な方を積極的に受け入れている事業所であることをさらに広報するとともに、安定した施設運営ができるよう関係機関とより一層連携していく必要がある。